

第5回 練馬区の将来像を考える区民懇談会（全体会）

議事概要

日時：平成19年12月21日（金）午後6時30分～8時50分

場所：練馬区役所本庁舎アトリウム棟地下 多目的会議室

出席者（敬称略、50音順）

○区民生活分野分科会

阿部財智、市川恵子、内田欽三郎、奥村隆史、尾崎九一、川井淳子、木原勇、清水幸子、戸田一誠、西塚正美、平野一枝、堀山みどり、本山裕一、山口不二夫

○健康福祉分野分科会

秋元和子、井戸公近、伊部美佐子、岩村美妙、大垣喜久江、金子禎子、河本道雄、木村昭彦、黒田雛子、小林幸江、齋藤洋、酒井政子、戸田了達、中島加代子、林真未、増田時枝、本橋隆、本橋恵

○教育分野分科会

石井和政、伊藤勝、岩田幸彦、奥野雅司、小野明、加藤裕、熊木和枝、鈴木洋子、諏訪本雄次、田中裕、萩原美奈子、三澤ちづ子、森田明、渡邊健

○環境まちづくり分野分科会

浅野祐介、石田節子、上野定雄、加藤眞一、要久美子、高津智美、小林俊彦、関口陽一、田中麻起子、沼田美穂、平田英二、深野一民、福澤節三、松島修三、柳洋子、渡邊義雄

1. 開会

－事務局から事務連絡

2. 議事

（1）各分科会からの中間報告

①区民生活分野分科会

－委員から中間報告書にもとづき発表

（以下、補足事項）

- ・公募委員、特に各界団体推薦の委員の出席が少ない。1グループ3、4名という状況も見られた。しかも、同じ人が継続して出席せず、議論が深まらなかった。
- ・区民生活分野では「活力」をテーマに検討を重ねているが、区民参加無くしては「活力」といっても絵に描いた餅なので、皆様積極的に出席して頂きたい。
- ・また、今までは当日に議事内容を頂いていたが、最終報告までの残りも少ないため、最終報告に向けた議事内容について、会議当日ではなく事前にご提案いただけるとありがたい。

（質疑）

- ・特になし

②健康福祉分野分科会

－委員から中間報告書にもとづき発表

(質疑)

- ・特になし

③教育分野分科会

－委員から中間報告書にもとづき発表

(質疑)

■委員（健康福祉分野分科会）

- ・家庭教育支援の仕事をしている。現場でたくさんの親と関わって感じるのは、大人になりきれない親もいるが、完璧な親になろうと苦しんでいる人、また、肩の力を抜いて上手に子育てをしている人もいる。親も多様化しているので、親をひとくくりにとらえないほうがよいのではないか。
- ・地域社会の課題に重要なポイントは、働き盛りの男性が地域社会に関わっていないことであると思うので、現在「(3) 地域社会に係る課題」の2つ目の*（アスタリスク）の例示の中に、働き盛りの男性を示すような文言があった方がよいと思う。

■副会長（教育分野分科会）

- ・ご指摘があった2点について、今後検討する上で参考としたいと思う。

■委員（健康福祉分野分科会）

- ・「観覧席のある施設がない」という発表であったが、光が丘体育館は観覧席があると思うので、「ない」というよりは「少ない」という表現の方が適切ではないか。

■副会長（教育分野分科会）

- ・ご指摘有り難うございました。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・みどりや、文化施設、文化資源などについて触れて頂いたことについては、当分科会でも重要性について議論したところであり、非常に賛同している。
- ・学校教育の中に奉仕活動を取り入れることが必要であるというご提案があったが、実際にはすでに取り入れられている。公立の学校は私立の学校に追いつくために、できるだけ授業時間を確保することが課題になっている。このため、これ以上奉仕時間を増加させることは、学力維持の観点からみると新たな課題にもつながる。また、地域の方は子どもが奉仕活動を行うために、サポートに苦勞している。
- ・小学校のPTAの会長をやっていたが、子どもは道で会うと挨拶してくれるのに対して大人の方が挨拶していない。練馬区の道徳教育はかなり高いレベルにあるのではないかと感じている。

- ・奉仕活動を導入する考え方は重要であるが、負の面もあるのでご検討頂きたい。

■発表者

- ・具体的にどの程度の授業時間を学校教育の中に盛り込むかという議論ではない。公共心・道徳心、特に社会的な協調性などについて、学校にかかわらず地域・家庭を縦断する形で、奉仕活動に子どもたちを携わらせることが、情操教育において非常に重要であるだろうという考えであり、大きな方針として提示したものである。
- ・挨拶についてのご指摘であるが、実感として、子どもたちはこちらから何回も挨拶を繰り返していると挨拶してくれるようになることもある。しかし、挨拶できない子どもも大人も依然として多い。こうしたことに限らず、道徳心・道義心が著しく欠如している人が多くなっているのではないかと、ということを感じて日常生活の中で感じることも多くなっている。
- ・大きな方針として、今後とも家庭・地域・学校の中で道徳教育を進めるべきだろうと考えている。

■副会長（教育分野分科会）

- ・今後の検討に合わせて、分科会の中で議論していきたい。

④環境まちづくり分野分科会

ー委員から発表

(以下、補足事項)

- ・他の分科会への呼びかけを補足しておきたい。
- ・生活のみどりやみどりの健康に関する効果ということでも区民生活分野や健康福祉分野においてみどりについてご議論いただけないか。
- ・農地は本来的には農「業」であり、産業分野の中での議論もできると良いのではないかと。
- ・環境は、環境教育ということで教育分野分科会にも絡むのではないかと。

(質疑)

■委員（区民生活分野分科会）

- ・近年地球温暖化の問題が大きくクローズアップされている。地球温暖化は、CO₂等の温暖化ガスによるものであるため、京都議定書では1990年基準排出量に対して6%削減するという事になっているが、それが達成出来ない状況にある。
- ・今後10年を考えると、温暖化の問題は非常に重要であると思われるので、今現在は7ページに、省エネルギーという問題が1行だけ記述されているが、省エネルギーという言葉だけではなく、温暖化防止のための「低」二酸化炭素の社会の形成といったことを盛り込んで頂ければと思う。
- ・自動車利用の抑制や緑化によるCO₂の吸収促進といった課題・対策があるだろう。

■発表者

- ・その点に関しては今後議論を深めていきたい。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・みどりを楽しむというのは大賛成である。
- ・交通の分野であるが、交通というと交通の流れの話ばかりになるが、「滞留」も非常に重要な問題である。駐輪場、駐車場、人間が集えるところ、休むところといったところをつくっていくような提案をして頂きたい。
- ・交通結節についてもうまく考えていく必要もあるだろう。こうした「流れ」以外の所も検討して頂きたい

■委員（区民生活分野分科会）

- ・8ページの「誰でもが移動しやすいまち」について、10年後には免許を持っている人は減少してくるのではないか。そのため、公共交通の整備も重要になってくるだろう。
- ・電柱の地中化は、車いす利用者や視覚障害者にとってはかえって困るということを聞いたことがある。電柱によって車の流れるスピードを抑制できていたものができなくなるからだそうだ。誰の視点で「移動しやすいか」を考えることも重要ではないか。
- ・輸送サービスについても、地域の人たちが互いに助け合うような、地域の人が地域の人を運ぶような福祉交通サービスについても触れると良いのではないか。

■発表者

- ・地域福祉交通については、重要な視点だと思う。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・発表頂いたものには賛成である。特に、浸透性の歩道や河川などについては特にすばらしい内容だと思う。
- ・安全・安心という観点からは、コミュニティは非常に重要である。しかし、道路を整備することで、自動車交通が多くなり地域が分断され、コミュニティが衰退することにもなっている。今までは消防の問題から道路拡幅の必要性が謳われたが、これからは、コミュニティの醸成を促す狭い道路でも通行できるような消防車を開発すべきであり、子どもが外で遊べるような道路空間があった方がよいと思う。

■発表者

- ・コミュニティ文化については、個人的には、緑を楽しんだりリサイクル活動といったことを通じて醸成されるものであると思う。
- ・道路については発表の際に言いそびれたが、幹線道路だけではなく生活道路の整備も必要という議論がなされている。

■委員（健康福祉分野分科会）

- ・8ページでコミュニティバスの充実とあるが、コミュニティバスはただ走ればよいということではない。
- ・利用者が少ないという現状の中で、住民がなにをコミュニティバスに望んでいるかを把握しながら、生活に密着した形で整備することが必要だと思う。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・寺の住職をしているが、緑地面積にしめる神社仏閣の貢献度は非常に高い。
- ・神社・仏閣の境内にある木から落ちる落ち葉は産業廃棄物として扱われる。これから、区の保護樹林の指定を受けると区が回収してくれるということだが、そうでない場合は従来通り産業廃棄物として有料処理の扱いとなる。

■委員（教育分野分科会）

- ・神主をしている。
- ・鎮守の杜という言葉があるが、これは、ローマ字になって英語でもよばれている。神社はかなりの規模のCO2吸収源となっている。
- ・杜ということと農地ということは少し違うと思う。自然や大地を感じる場として神社・仏閣があること、国際的にも注目されていることをご理解頂きたい。
- ・公園の利用者のモラルがあまり高くない。緑をたのしむ、保全するということに含めて、環境教育を進めることが必要だと思う。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・練馬は高低差が少ない地形である。そういった意味で、屋敷森や神社・仏閣の森というのは、練馬にとっては山にあたるものであり、大切にしていかなければいけないと思う。こういうことを触れて頂けるとありがたい。

■副会長（環境まちづくり分野分科会）

- ・色々ご意見有り難うございました。今後の議論の参考とさせて頂きたい

3. 全体討議

■会長

- ・時間もおしているが、少し全体討議の時間を設けたい。他の分科会に述べておきたい意見などがあれば挙手の上ご発言頂きたい。

■委員（教育分野分科会）

- ・教育分野分科会で出された意見の中で、環境まちづくりや区民生活に関連する意見がいくつかあった。それぞれの分科会の中でご検討頂きたい。
- ・練馬区では、緑豊かな公園が多数存在している。こうした特性を活かしたまち歩き観光を進めているようであるが、区の施設やみどりを結ぶ道路について、自転車や車いすが安心して通行出来るサイクリングロード等の設置を進めて頂きたい。
- ・練馬区内で、環状鉄道の誘致をお願いしたい。お年寄りの移動や子どもの通学が安全かつ低廉に行えるように、区内循環コミュニティバスを目的地を限定せず周回させることで、区民の足として充実させていたり、環状七号線の地下に地下鉄を誘致するという方策があるだろう。将来高齢者が多くなり、お年寄りが気軽に出かけることが健康づくりに重要であるといわれていることから、大事なことだと思うのでご検討下さい。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・4つの分科会の内容を聞かせて頂いたが、この中で、重複している問題が非常に多い。特に「みどり」の問題はいろんな所に入ってきている。また、区民の絆・交流・コミュニティということもそれぞれの分科会に入っている。
- ・こうした言葉が入るのは仕方がないと思うが、メインで議論する場所を何処にするのかということをはっきりとした方がよいと思う。

■会長

- ・この点について今からお話ししようと思っていたところである。
- ・みどりの問題については環境まちづくり分野と区民生活分野で大きく取り上げられていた。環境まちづくり分野分科会の副会長にもご意見を伺いたい。

■副会長（環境まちづくり分野分科会）

- ・みどりについては、当分科会についても非常に重要なテーマになっているが、このまま担当させて頂ければと思っている。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・区民生活と環境まちづくりの各分科会において、「みどり」のテーマとしての重要性に相違はなく、どちらかがやるということは難しい。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・我々は、安全にという観点が入っている。緑に関しては、それだけを考えてきたところもあるので、一緒になって考えていくしかないだろう。

■会長

- ・残り3回の懇談会の中で整理していくとは思いますが、両方の分科会で考えればよいのではないか。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・みどりに限らず影響してくる問題はある。農業についても観光についても重なっている。それぞれで議論して良いと思うが、視点をはっきりさせたほうが良いと思う。
- ・この分科会の伝言板のようなものを用意しておいて、他の分科会に気がついた点を伝言できるような仕組みを作って欲しいという要望を以前出したが、あらためてこうした仕組みを要望したい。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・どちらかの分科会が担当するという結論を導き出すのは難しい。分科会自体を一度解体して、もう一度委員の中で、テーマを選び直した方がよいのではないか。

■委員（区民生活分野分科会）

- ・最終的には一つの報告書として取りまとめるわけであり、同じような内容が重複しているのは美しくないのではないか。
- ・別々に議論していけばよいのではないかというご意見もあったが、何らかの調整方法を検討する必要があると思う。

■委員（健康福祉分野分科会）

- ・3回あるうちの1回を両方の分科会が同時に開催することにはどうか。いずれにしても、重要な問題であるので、じっくり議論することが必要ではないだろうか。
- ・なお、同じ委員が長時間発表することを防ぐなど、こういった発表の場では適切に議論を整理していかないと、貴重な時間を失うことになるので、事務局側で運営にも気をつけて頂きたい。

■会長

- ・私の方では判断しかねるので、行政の方のご判断を聞いてみたい。

■事務局

- ・もう一度分科会のメンバーを入れ直すということは、今まで積み上げてきた議論との兼ね合いもあり、難しいと考えている。
- ・区民生活分野については、農業に携わっている委員の方が参加しているので、農業に比重をおいた検討をして頂ければと考えている。
- ・環境まちづくり分野では、幅広くみどりについてご議論を頂ければと考えている。
- ・今回、意見シートをご用意している。これを毎回お出しして、他の分科会への意見や欠席者の意見を出して頂くという形にしたい。

⇒賛成の拍手

■事務局

- ・議事概要は各分科会で自分たちの分科会のもののみ配布している。ホームページでは公開しているが、他の分科会の議事概要が必要という希望があれば事務局に申しつけて頂ければ送付するようにしたい。
- ・こうしたことで、分科会間での課題の共有化と意見交換を進めたいと考えている。

■会長

- ・事務局からの提案内容でいかがか。

⇒賛成の拍手

■会長

- ・会議の終了時間が過ぎているので、これで終わりにしたい。

以上